

スギ及びヒノキの花粉症対策品種(無花粉スギ等)を 府県と連携して新たに開発

森林総合研究所では、花粉症が国民的疾患となる中で、都府県と連携して、花粉症対策品種の開発を進めております。

平成19年度は、新たに次の品種を開発しました。

無花粉(雄性不稔)スギ	1品種
少花粉スギ	10品種
少花粉ヒノキ	39品種

無花粉(雄性不稔)スギ品種

無花粉(雄性不稔)スギは、普通のスギと同様に雄花を着けますが、雄花が成熟する過程で花粉が正常に発達せず花粉が生産されないという特徴を有しているものです。当研究所では、平成17年に無花粉(雄性不稔)スギ「爽春(そうしゅん)」を開発していますが、今回、新たに1品種(三重県産。別紙)を開発し、合計2品種となりました。

少花粉スギ品種

成長や幹の通直性等に優れたスギ精英樹を対象に、雄花の着生量の調査を行い、雄花が全く認められないか、極めて僅かであり、花粉飛散量の多い年でもほとんど花粉を生産しない少花粉スギをこれまでも開発していますが、今回、青森県ほか4県において、新たに10品種(別紙)を開発し、合計131品種となりました。

少花粉ヒノキ品種

少花粉ヒノキは、少花粉スギと同様の基準を用いて、これまでも開発していますが、今回、三重県ほか14県において、新たに39品種(別紙)を開発し、合計55品種となりました。

今後の取組

新たに開発した品種については、都府県の管理する採種園や採穂園の造成・改良用等の原種として配布するとともに、引き続き花粉症対策品種の開発に取り組むこととしています。

注) 原種：開発した品種そのものの特性を維持しつつ増殖したもの。

採種園：苗木の生産に必要な種子を採取するために設けられた樹木園。

採穂園：さし木による苗木生産に必要な穂木を採取するために設けられた樹木園。

連絡先：独立行政法人森林総合研究所
林木育種センター
茨城県日立市十王町伊師 3809-1
電話：0294-39-7045
担当：育種第一課 藤澤、野村

(別紙)

無花粉(雄性不稔)スギ品種一覧表

県名	品種名
三重県	スギ三重不稔(関西)1号

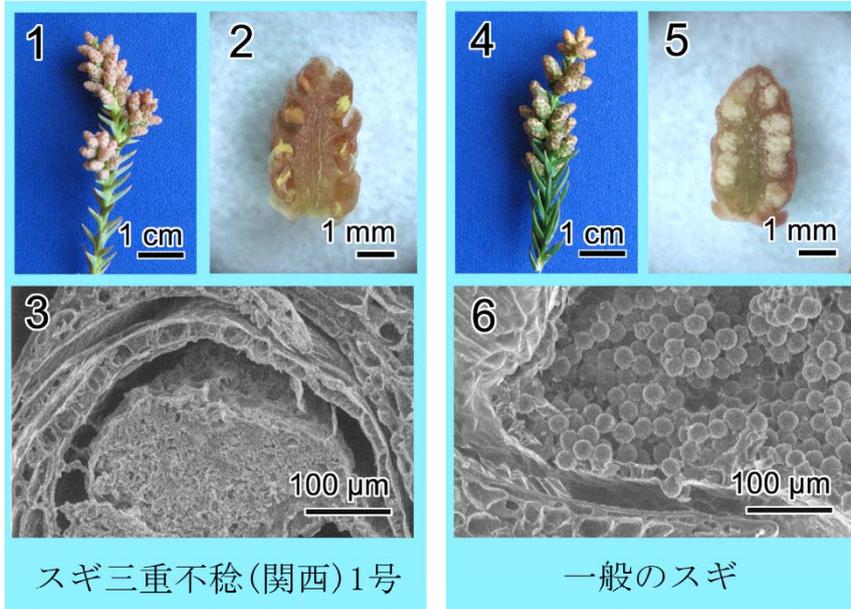
少花粉スギ品種(精英樹)一覧表

県名	品種(精英樹)名
青森県	増川6号、黒石6号
岩手県	水沢6号
宮城県	玉造8号、宮城3号
秋田県	上小阿仁107号、仙北1号、雄勝3号、雄勝13号
新潟県	高田1号

少花粉ヒノキ品種(精英樹)一覧表

県名	品種(精英樹)名
三重県	名賀3号、度会4号
兵庫県	氷上1号、多可6号、美方1号
岡山県	英田1号、真庭1号、真庭2号、真庭3号、真庭7号、真庭9号、新見署7号、新見署10号
広島県	賀茂1号
鳥取県	鳥取署102号、日野5号
徳島県	海部12号
愛媛県	西条1号
高知県	大正1号、大正2号、川崎1号、窪川1号
福岡県	浮羽14号、遠賀1号
佐賀県	藤津3号、藤津4号、唐津1号
長崎県	南高来2号、南高来10号
熊本県	阿蘇3号、阿蘇6号、阿蘇11号
大分県	中津10号
宮崎県	東臼杵3号、北諸県2号
鹿児島県	始良4号、始良21号、始良29号、始良45号

無花粉(雄性不稔)スギ品種



雄花の接写写真(1, 4)
無花粉スギの雄花の外見は、一般のスギと同様です。

雄花断面の実体顕微鏡写真(2, 5)

一般のスギでは、丸く見える葯の中に花粉が詰まっています。

雄花断面の電子顕微鏡写真(3, 6)

一般のスギには、丸い粒状の花粉がたくさん見えますが、無花粉スギには花粉が全くありません。

少花粉スギ品種



少花粉スギ品種(左)と一般のスギ(右)との雄花着生量の違い

少花粉ヒノキ品種



少花粉ヒノキ品種(左)と一般のヒノキ(右)との雄花着生量の違い